

関係各位

血液凝固異常症全国調査へのご協力をお願い

拝啓

盛夏の候、皆さま方におかれましてはますますご清勝のこととお慶び申し上げます。
また、日ごろから厚生労働行政の推進にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

血液凝固異常症実態調査事業は、血液凝固異常症の病態を把握し、血液凝固異常症の治療の向上と生活の質の向上に寄与することを目的として、平成13年度から実施しております。

例年、臨床医の皆さま方のご協力により貴重なデータを収集することができておりますことにつきまして、あらためて厚く御礼申し上げます。

今年度も血液凝固異常症全国調査運営委員会において本調査を実施することとなりました。調査の事務局は、昨年度と同様に公益財団法人エイズ予防財団が担当し、調査の集計作業は、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科特任教授の瀧正志先生及び同大学医学情報学分野客員教授の立浪忍先生に担当していただきます。

皆さまにおかれましては、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本調査にご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、この事業における調査実施にあたり、平成29年3月に一部改訂された「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針ガイダンス」に基づき、各医療機関で「他の研究機関への既存試料・情報の提供に関する届出書」の提出が新たに必要になりました。この調査研究の重要性をご理解いただき、ご対応をいただくようお願い申し上げます。また、例年同様、可能な限り患者の皆さまから「同意書」の取得にご協力いただくとともに、当該情報の適切な管理を図っていただくよう併せてお願い申し上げます。

敬具

平成29年7月吉日

厚生労働省健康局結核感染症課エイズ対策推進室